

# 令和4年度 第2回定例庁議 議事報告

開催日時：令和4年5月12日（木）午後1時15分 開会

開催場所：笛吹市役所本館302会議室

## 【進行：政策課長】

### 1 開会

### 2 市長あいさつ

今年1年間の仕事に対する姿勢について、部長の皆さんに改めてお伝えする。今年度の行動テーマである「Take Action まず行動を起こそう」の意識の下、それぞれが置かれた立場で何ができるのか、何をすべきなのかということを中心に考えながら、仕事に取り組んでほしい。

部長の在任期間は、一般的には2年から3年と短い期間である。その間、必要最低限のことや指示されたことだけに取り組むのか、それとも行動を起こして課題解決に向けて取り組むのかでは、結果がまったく違う。私は選挙で選ばれた政治家であり、結果を残そうと考えるのは当然と思うかもしれないが、皆さんにも同じことが言えると思う。市の幹部職員として、しっかりと結果を残す心構えで、1年間取り組んでほしい。

### 3 協議・報告事項（議長：副市長）

#### (1) 防災関連計画策定について（総務部）

説明：総務部長

#### 【説明内容】

資料に沿って説明（防災危機管理課長、防災担当）

#### 【質問意見等】

(市民環境部長)

今年度、環境推進課では、災害廃棄物の処理計画に基づく職員の初動対応マニュアルを策定する予定である。計画やマニュアルの前提となる災害の被害想定等について互いに整合性を図るためにも、積極的に情報を共有していきたいので、協力をお願いする。

(総務部長)

災害廃棄物の処理計画に関しても、地域防災計画の一部であると認識しているので、足並みを揃えて取り組んでいきたい。

(議会事務局長)

南海トラフ地震の被害想定に基づく計画とのことだが、東海地震についても勘案されているか。

(防災担当)

南海トラフ地震の方が、より広域的な被害をもたらすとされており、東海地震の被害想定エリアも包含しているため、南海トラフ地震の被害想定は、東海地震のそれを兼ねるものとして考えている。今後、新たに南海トラフ地震の被害想定が示された際には、東海地震の被害想定エリアとも照らし合わせることにする。

(市民環境部長)

山梨県内には活断層が複数走っているため、直下型地震が発生した場合には相当の被害が想定されると思うが、県は被害想定を作成しているか。

(防災担当)

既に作成されており、笛吹市地域防災計画にも反映されている。

(保健福祉部長)

本市では初となる受援計画を策定するということだが、現段階ではどのような計画を想定しているか。

(防災担当)

策定に当たっては、災害時に職員がどれだけ参集するのか、災害時の業務を含めた市役所の業務量はどの程度になるのか、被害想定に対して備蓄品は充分なのか、それに対して外部の支援や物資がどれだけ必要になるのかといったことを、まずは検討することになる。それらを踏まえて、支援

の受け方や、手続き方法なども盛り込んでいく予定である。

(保健福祉部長)

市役所の業務についての受援に関する内部計画であり、災害ボランティアなどは対象外という認識でよいか。

(防災担当)

そのとおり。

(2) 土砂災害訓練及び総合防災訓練の実施について (総務部)

説明：総務部長

【説明内容】

資料に沿って説明 (防災危機管理課長、防災担当)

【質問意見等】

(議会事務局長)

土砂災害訓練は、これまでは各町で順に行ってきたが、今回は2年連続で芦川町が対象地域となっている。令和5年度以降の予定は決まっているか。また、これは地区防災計画とも関連があるのか。

(防災担当)

芦川町での土砂災害訓練については3年度計画で行っており、来年度も芦川町を対象地域とする予定である。来年度以降、芦川町における土砂災害想定区域の地区防災計画の策定を検討しているが、その中に、市有バスを使用した避難支援を含む芦川町全体の避難計画を盛り込む予定でいる。

(議会事務局長)

地区防災計画策定のためということは、今後、境川町、御坂町、一宮町などの市内各地域も、その対象になっていくということか。

(防災担当)

市内で想定される他の土砂災害想定区域の行政区でも、地区防災計画の策定を進めてもらうために、土砂災害訓練を継続していきたいと考えている。

(消防次長)

消防本部では、職員1人を芦川支所で勤務させており、実際の発災時には行政職員と協力して活動することとなる。6月の土砂災害訓練では、ぜひ消防本部職員も参加させてほしい。

(防災危機管理課長)

ぜひお願いします。

(会計管理者)

昨年大雨が降った際は、上芦川と鶯宿で雨量計の数値に100ミリ以上の差があった。芦川町で土砂災害の恐れがある場合には、雨量計はどこにあるものを基準とするのか。

(防災担当)

気象庁が土砂災害警報等を発令する判断基準は、雨量計で測れる雨量だけではなく、既に土壌に浸み込んでいる雨量、1時間当たりの降雨量や、数時間後までに見込まれる降雨量を、上空の雨雲を観測することにより計測し、これらを総合的に勘案したものである。

防災危機管理課としては、警報の発令以降には芦川地内にある県の雨量計と市の雨量計を全て注視しながら、土砂災害に対して配備する態勢をとっている。

(保健福祉部長)

6月の土砂災害訓練について、一般職員への出動要請の予定はあるか。

(防災担当)

今回の訓練は、行政区長及び消防団の初動対応について確認し、それに基づくタイムラインを作成することが大きな目的であり、支所職員、防災危機管理課、行政区の役員、消防団幹部等を参加対象としているため、それ以外の職員への出動要請は予定していない。

(議会事務局長)

芦川町の住民の避難場所を広域的に確保するため、富士河口湖町と避難などの協定を締結してはどうか。芦川町の住民が八代町に避難すると30分かかるところが、富士河口湖町であれば10分で行くことができ、避難速度は3倍になる。

(防災担当)

広域避難計画は別途計画をしている。現状では、富士河口湖町側の受け入れ態勢が整っていないが、今後、検討を進めていく。

(3) 「笛吹市地域公共交通計画」の策定について（総合政策部）

説明：総合政策部長

【説明内容】

資料に沿って説明（企画課長、企画調整担当）

【質問意見等】

(産業観光部長)

本計画は、市民のみを対象としているのか。現在、山梨県が、主に観光客を対象として「やまなし観光MaaS」という複数の交通手段や観光施設をスマートフォンでルート検索・予約・決済できる環境の整備を進めており、本市においてもMaaS実証実験の一環として、石和温泉駅からさくら温泉通りを経由して勝沼へ向かうバスが、昨年11月に期間限定で運行された。計画の策定にあたっては、MaaSとの兼ね合いも配慮してほしい。

(企画課長)

市民は当然ながら、観光客についても計画の対象に含める予定である。移動手段が多様化する中で、MaaSなど新しいシステムがあることも含めた上で、本計画を策定していきたい。

(議会事務局長)

笛吹市だけではなく、甲州市や山梨市などの近隣自治体とも協力して進めてほしい。

(企画課長)

今年度から、山梨県でも地域公共交通計画の策定を進めていくとの情報があるため、市町村の垣根を超えた広域的な計画については、その中で検討していくことになると考えている。

(副市長)

本計画は、移動手段だけではなく、移動支援も含めた計画となっております。

り、福祉タクシーの利用助成事業や高齢者外出支援助成事業、運転免許の返納事業など、関係する課も多岐に渡るので、担当各課との連携を取りながら計画策定を進めること。

(企画課長)

承知した。

(4) 令和2年度財務書類について (総合政策部)

説明：総合政策部長

【説明内容】

資料に沿って説明 (財政課長、財政担当)

【質問意見等】

(保健福祉部長)

資料22ページの受益者負担比率について、令和元年度に比べて2ポイント下落した理由は何か。

(財政課長)

受益者負担比率は、経常収益を経常費用で除して算出する。令和2年度は、定額給付金事業等の支出により、経常費用が一時的に82億円増加した一方、経常収益については、やはりコロナ関連で利用料の減免等が重なったことにより約4億円減少したため、結果として指標が下がっている。

(保健福祉部長)

そうすると、令和2年度には全国の自治体で同様の状況があったと考えられるので、本市以外の自治体においても、受益者負担比率が下がったということか。

(財政課長)

令和2年度の他自治体の各種指標はまだ揃っていないので、比較はできていないが、全体的に同様の傾向であると推測する。

(保健福祉部長)

資料18ページを見ると、市民1人当たりの純行政コストは、給付金等の理由もあって令和元年度に比べて14万円増加している。これに対し、市民1人

当たりの負担率は下がっているため、単純に数字だけを見ると、市民の負担が減った一方で、行政側のコストは増加したことになる。受益者である市民にとってはいいことかもしれないが、今後の安定した行政運営のためには、受益者負担比率を上げていくことを考える必要があると思うが、どうか。

(総合政策部長)

そのとおりである。受益者負担比率が下がったのは、コロナの影響によるところが大きいものの、資料に参考として記載した表からも明らかなように、県内の他市に比べ本市の受益者負担比率は低い水準にある。3年後に予定している水道料の引き上げなどにより、徐々にこの比率を引き上げていきたいと考えている。

#### 4 その他

\* 令和4年度第3回定例庁議

令和4年6月9日(木) 午後1時15分～ 本館3階302会議室

\* 令和4年笛吹市議会第2回定例会 一般質問答弁検討日程

令和4年6月15日(水)、16日(木)、17日(金) いずれも終日

#### 5 閉会

午後2時25分閉会